

# 2019年度「社長夫人経営塾」募集要項

伊那商工会議所にて弊社主催「社長夫人革新講座」を開催させていただきました。  
そして、卒業された皆様からのご要望で、この度松本市にて「社長夫人経営塾」を設立することにいたしました。  
「社長夫人革新講座」を平成14年に開講して、15年が経ちます。  
本講座で学んだことをしっかり活かし、会社を蘇らせている社長夫人もおられますが、受講しただけで終わらせている社長夫人の皆さんもおられるのも事実です。

私が、平成3年に独立した動機は、“経営の基礎”ができていない企業が多いことに危機感を持ったからです。  
そして、「経営の基本とは何か？」を探求して出した答えが「幸せのりんごの樹」という理論です。  
この理論を実現するためには、社長一人では無理だと考えました。  
そこでターゲットを人生のパートナーである社長夫人に定め、経営のパートナーとして育てることが重要だと考えたのです。  
創業10周年（平成13年）に「21世紀は女性の時代—中小企業の社長夫人の革新の時代—」という演題で記念講演をしました。その時の年齢は、60歳。  
結局、「これが私の使命だ！」という答えに至るまで1年という歳月を費やしました。  
そして、翌年（平成14年）11月に「社長夫人革新講座」の第一期を開講。  
それから、社長夫人の育成に命を懸けてきました。  
その間、「社長夫人が勉強する文化がない！」「社長夫人という宿命への責任感が薄い！」「社長自身が社長夫人を認めていない！」など講座を開催するには厳しい現実は何度もぶち当たりました。

中小企業の全企業に占める割合99.7%。また、中小企業数はこの20年で約100万社が消えています。起業組も加わっての数字ですので実際はこの数字をはるかに超える会社が消滅したと考えられます。  
バブル経済崩壊後、日本経済は停滞し続けています。こうしたなかでも日本経済活性化の原動力と期待されているのが中小企業なのです。  
しかし、現実には中小企業が期待されているような役割を果たしているかどうかは疑問です。  
中小企業の経営環境は常に厳しい状況であり、倒産や廃業が相次いでいます。

それは何故か？

1. 理念やミッション（使命）が明確ではないために、経営者の意思決定がぶれる
2. 実行力の不足
3. 未だに“勘”で経営をしている
4. 決算書が読めない→問題が分からない
5. 損益計算書だけで経営を行ってきたことで財務状態が悪化
6. 人材育成の遅れ
7. 生産性を高める仕組みができていない

中小企業の“底上げ”をテーマに取り組んだ20年間の活動からこれらの課題に気づいたので。  
この現場で培ったノウハウを皆さんに伝えることで、まだまだ中小企業の発展に貢献できるのではないかと思います。  
「社長夫人経営塾」を開塾することにしました。  
従来の「総務・経理部門」は後処理部門でした。  
しかし、今後の中小企業は、「総務・経理部門」を「経営管理企画室」に昇格すべきだと考えています。  
そのためには、社長夫人も“経営のプロ”に成長する必要があります。

社長夫人経営塾塾長 矢野千寿

## 【プロフィール】

講師 **矢野千寿** (ヤノチズ)

(株)アローフィールド 代表取締役

日本初！社長夫人育成&管理会計コンサルタント

- 1942年山口県下関市生まれ。●1967年家業の福岡支店を開業し、経営に参画。
  - 1981年夫の闘病生活を支えるため経営の第一線から引き、出版社の経理として転職。赤字体質企業を財務面から改善し、短期間で優良企業に。●1987年 会計事務所に入社。顧問先を経営指導。●1997年 コンサルティング会社(株)アローフィールドを設立し、代表取締役に就任。●2005年 『これからの社長夫人は会社経営のプロになれ！』出版●2011年 『これからの社長夫人は財務分析のプロになれ！』出版●2016年 『夫人的力量』中国語版出版
- ※テレビ・ラジオ・雑誌・セミナーなどで活躍中。特に『社長夫人革新講座』を東京・名古屋・大阪・福岡を中心に開講し、多くの社長夫人の戦力化に成功！社長様からも喜ばれている。



- 対 象 長野県在住の社長夫人
- 年会費 150,000円（税別、会場・宿泊費・食費等は含みません）
- 日 程 年4回
- 会 場 えんぱーく（塩尻市市民交流センター）  
長野県塩尻市大門一番町 12-2 TEL：0263-87-6517
- 申込期日 2019年1月15日（土）迄
- お問い合わせ 城東冷機サービス（株） 松岡美樹様 TEL：0263-57-6010

1回	2月8日（金）	2月9日（土）
2回	5月10日（金）	5月11日（土）
3回	8月23日（金）	8月24日（土）
4回	11月22日（金）	11月23日（土）
<b>時間割</b>		
1日目	10：30～12：30	講 義
	12：30～13：30	昼 食
	13：30～16：30	講 義
2日目	10：30～12：30	講 義
	12：30～13：30	昼 食
	13：30～16：30	ミーティング

下記に必要事項をご記入のうえ、**FAX:092-553-3306**

ご返信ください。折り返し担当者よりご連絡申し上げます。

会社名		役職名		氏 名	
住 所	〒	TEL		Eメール	
		FAX			